



星和化成株式会社

本社所在地 / 大府市横根町坊主山1-132
業務内容 / 製造業、プラスチック成形加工
従業員数 / 117人(男性 87人・女性 30人)



Interview

運搬作業や力仕事を減らす、
現場の工夫が成果を生む



東海興業精機株式会社

本社所在地 / 大府市月見町3丁目115番地
業務内容 / ゴム・樹脂自動車部品生産設備製造
タイヤ生産設備製造、自動車部品用金型製造
従業員数 / 33人(男性 27人・女性 6人)



Interview

女性社長と男性管理職のタッグで
古くからの慣習を改革

女性活躍の工夫で男性の負担も軽減、生産性は2倍に!

5年程前から、職場ミーティング等で改善提案やヒヤリハットを出すことにしました。提案されたものは、委員会等で検討し、必ず提案者に回答します。「言葉は考えてくれる」が伝わることで、活発に提案がされるように

Q この数年で大きく変化しましたね。注力していらっしゃる点は?

運搬方法を箱から台車に切り替え、コンベア化することにより運搬作業や力仕事が減り、多くの女性やシニアが活躍できるようになりました。腰痛などの疾患も減り、山積みなどの箱もなく、各職場のスペースも有効に活用できるようになりました。その結果、箱の上げ下ろし作業等が大幅に削減され、生産性が2倍近く上がり、職場によっては2直から1直(昼勤のみ)で対応できるようになりました。

Q どのようなアイデアが出ましたか?

弊社の現場では、大きな箱を持ち上げたり運んだりする力仕事が多く、男性中心の職場でした。しかし、人材確保が難しくなり、女性やシニアも活躍できる職場づくりを目指す必要がありました。折しもコロナ禍で生産が一部止まり、空いた時間を有効に使う。その方法を従業員達に考えてもらいました。

Q 御社は多くの女性が活躍されていますが、きっかけは?

磯野さん・堀場さん・嘉無木さんにお聞きします。

Q 近藤さんが入社を決めたきっかけは何ですか?

近藤さんにお聞きします。

自宅から近いのが魅力でした。物づくりが好きですし、挑戦するのは楽しいです。派遣社員を経て正社員となり、働きを認めていただき現在の役職に就いています。

Q 女性リーダーも増えましたか?

はい、増えています。以前はプレッシャーで辞めてしまうこともありました。自分でやれると判断できることは行い、できないことは上司に相談する、失敗を恐れず改善を行うように日頃からリーダー達に伝えていきます。管理職の意義に目覚める女性が多く、頑張ってくれています。

Q 人員調整会議という会議があるそうですが、どのようなものですか?

製品の需要変動に応じて、人を増減する会議です。負荷が増加する部署に対しては、職場間をまたいで応援の体制を取ります。普段と違う仕事ですが、手順書と機械検査でスムーズに取り組んでいます。残業の削減や、休みを取得しやすい環境につながっています。

Q 今後の展望を教えてください。

西田さん 育児はまず男性が取ってくれるといいなと思います。今は対象者がいませんが、取ることでお互い様の意識が深まると思っています。私は男女関係なく、人それぞれ得意不得意はあると思っています。例えば、機械の製造設計は男性に得意な人が多い傾向がありますが、新しい技術やシステムの導入で、女性が活躍する幅も広がっていきます。女性活躍推進は、製造業に吹き込む新しい風です。それぞれの得意と技術、SNSの力も使い、キツイ・汚い・危険というこれまでのイメージを覆していきたいですね。

Q 女性のライフスタイルの変化に合わせた働きやすさは感じますか?

私の部署は全員女性で、残業できない人も多いです。定時時間内に、余裕がある状態で仕事を終われるようにと考えています。一人ひとりの様子をよく観察し、部下からの相談、上司からの提案など、あらゆる方向から検討します。

Q どんなところに注目して改善案を考えていますか?

改善提案で現場が変わるとやりがいを感じます。提案をしたときに、会社が検討して応答してくれるところに、風通しの良さを感じます。

SNS発信でイメージ戦略、HPアクセスは30倍に!

御社は中小企業の製造業には珍しく、SNS広報に力を入れていますね。どのように活用されているのですか?

Q 最初に取り組んだことは何ですか?

近藤さん...2年間の準備期間を経て、2020年に「あいち女性輝きカンパニー」認証を取得しました。行政からアドバイスを受けながら、育児介護休業の規則を正式に就業規則に盛り込むなど会社規定の変更や、全社員に向けて意識調査を行いました。この期間に、女性社員が3人から6人に倍増したので、トイレの改修を行いました。これまで「女性の仕事」だった掃除は外部委託へ、お茶出しはペットボトルに変更しました。これは男性社員にも好評です。

Q 反響はありましたか?

近藤さん...ありましたよ。インスタグラムのダイレクトメールで、求人問い合わせが直接きます。理系の女性からかなり具体的な問い合わせが来たこともあり、ホームページの閲覧数も30倍に上がり、採用人材の予備軍ができてきたと、手応えを感じています。最近では、取引先からも「見たよ」と言われることが多くなりました。

Q 御社は中小企業の製造業には珍しく、SNS広報に力を入れていますね。どのように活用されているのですか?

西田さん...人材不足に備えるための求人広報として始めました。外部コンサルタントを登用して、フェイスブック・インスタグラム・YouTubeをやっています。定期的にプライベート配信もしています。



専務取締役 堀場 幸彦さん



代表取締役社長 西田 仁美さん



製造部組立1課係長 近藤 由季さん



総務部総務人事課課長 嘉無木 美穂子さん